

<b>授業科目名</b>	看護過程演習(2300305)		
<b>時間割名</b>	看護過程演習(24208)		
<b>時間割担当</b>	中馬成子		
<b>実施期</b>	前期	<b>単位数</b>	1 必修
<b>曜日・時限</b>	火・4		

### 授業の目標・概要

看護実践に至る科学的な思考、構成要素について学習し、エビデンスに基づいた看護実践を提供する思考プロセスを学習する。看護過程の6つのステップである、情報収集・分析・診断・計画・実施・評価の概念を理解し、特に分析（アセスメント）においては、知識を基に情報をどのように分析し、個別的な看護計画や看護実践に活用するか、事例を通して具体的に学習する。

### 学習の到達目標

1. 既習学習に基づいて対象者の健康上の問題を分析できる。
2. 分析の結果をエビデンスとした看護援助を計画することができる。
3. 看護過程の展開を通して、科学的な思考の重要性とその方法が理解できる。

### 授業方法・形式

講義と演習

### 授業計画

- 第1回 導入：授業ガイダンス  
看護過程の目的、看護過程のステップ、人間の捉え方
- 第2回 看護過程の構成要素の解説（情報収集、分析、診断、計画、実施、評価）
- 第3回 看護過程の構成要素の解説（情報収集、分析、診断、計画、実施、評価）
- 第4回 事例の紹介、グループワークの課題の解説
- 第5回 グループワーク：情報収集
- 第6回 情報収集の解説
- 第7回 グループワーク：情報の分析
- 第8回 情報の分析の解説
- 第9回 グループワーク：関連図
- 第10回 関連図の解説
- 第11回 グループワーク：診断、計画
- 第12回 診断、計画の解説
- 第13回 学習成果の発表
- 第14回 実施、評価の記録方法
- 第15回 まとめ

### 成績評価の基準

課題、グループワーク・成果発表の参加度を総合的に評価する。

### 準備学習・復習及び授業時間外の課題

個人課題、グループワーク課題を随時提示する。

### 履修上のアドバイス及び留意点

適切な看護援助を提供するための科学的思考を学ぶ演習科目である。今後の実習に必要な思考過程であり、既習の専門的な知識を用いて思考のプロセスを踏んでいく内容である。難易度の高い演習内容のため、各自が個人課題に取り組み、グループワークをを行いながら、理解を深める。

### 教材・教科書

系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術 基礎看護学 2 （第3章）

### 参考書

適宜紹介する。